

富山県感染症発生動向速報

(2026年第27週分・6月29日～7月5日)

■今週の主な動向

○手足口病の報告数が10.69人/定点となり、5週連続で警報開始基準を超えています。

2歳以下の乳幼児を中心に報告数が増加しています。特徴的な症状は、手のひらや足の裏、口の中の水疱を伴う発疹です。おむつ交換やトイレの後、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。(第24週インフォメーション参照)

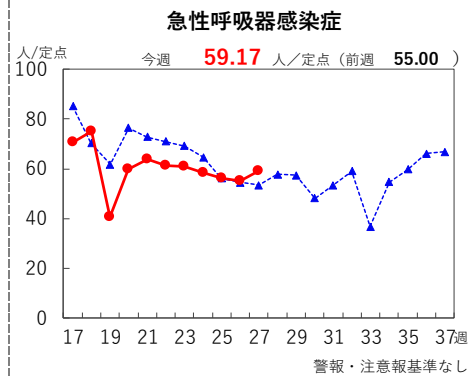
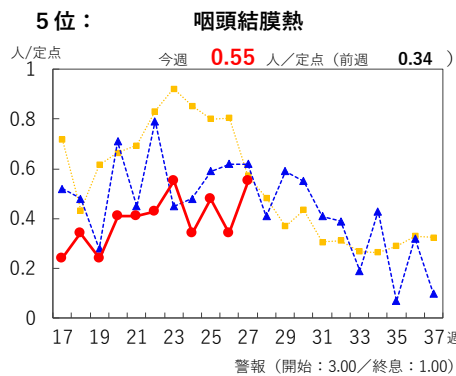
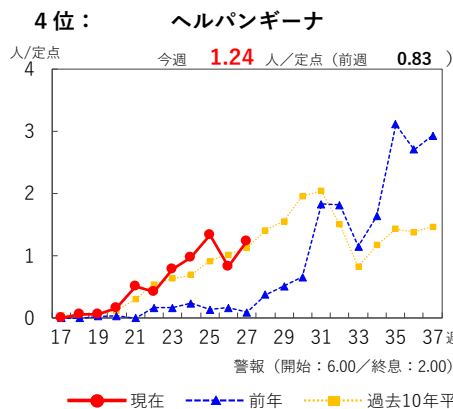
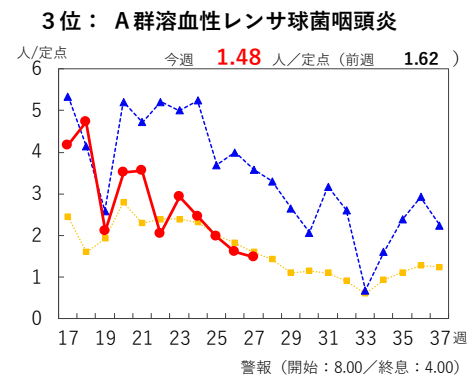
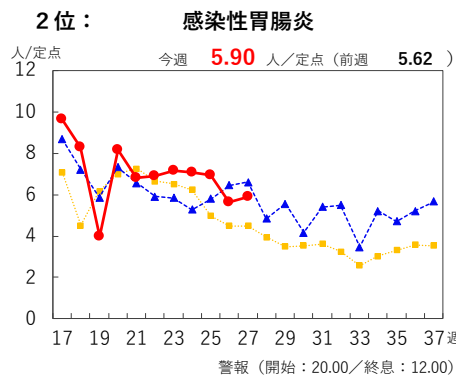
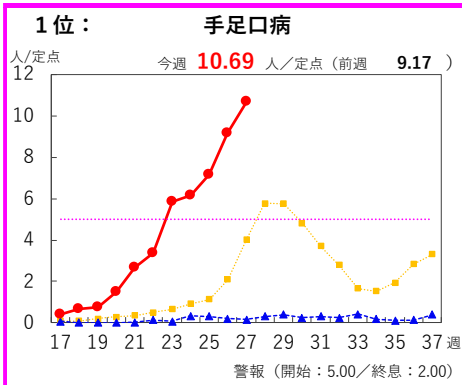
○麻しん(はしか)が今週3例報告されました(2026年第27週時点累積8例)。

麻しんは、風邪症状の後に高熱と発疹が現れる特徴があります。感染力が強いため、過去の罹患歴や2回の接種歴がない方は追加接種をご検討ください。(今週のインフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患+急性呼吸器感染症 (第27週・6/29～7/5)

警報



●現在 ●前年 ●過去10年平均 ●警報 ●注意報 ●流行

厚生センター(保健所)管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 1件(50歳代、男性)

四類感染症 デング熱 1件(20歳代、男性)

マラリア 2件(①10歳代、女性、熱帯熱 ②40歳代、女性、熱帯熱)

レジオネラ症 1件(70歳代、女性、ポンティアック熱型)

五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1件(70歳代、女性)

水痘(入院例) 1件(50歳代、男性)

麻しん 3件(①30歳代、男性 ②40歳代、男性 ③40歳代、女性)



富山県感染症情報センター(富山県衛生研究所内)

TEL: 0766-56-5431(直通) HP: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>



県内で麻疹（はしか）患者が増加中！ ワクチン接種歴の確認を！

《 インフォメーション 》

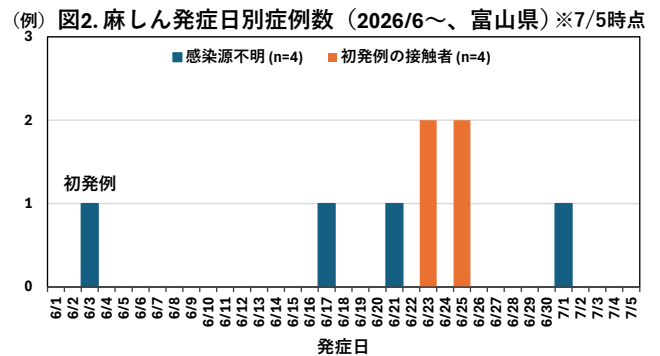
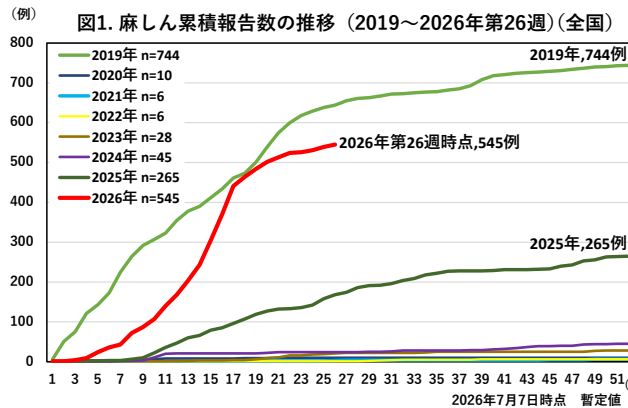
●麻疹

麻疹は、麻疹ウイルスによる急性感染症であり、主な感染経路は空気感染です。日本は2015年にWHOより麻疹排除状態であると認定されました。しかし、排除認定後も海外からの輸入症例を発端とした感染事例が散発的に認められています。2019年には、麻疹排除認定後で最多の744例の報告がありました。2026年には、第26週時点で既に累積545例が確認されており（図1赤線）、海外渡航歴のない症例も報告されています。また、患者にはワクチン未接種または接種不明者が多く含まれています（[IDWR 2026年第20号<注目すべき感染症>麻疹, JIHS](#)）。

富山県内では、今年に入り7年ぶりに麻疹患者が確認され、7月5日までに8例の報告がありました。海外渡航後の初発例から二次感染も発生しています。また、感染源不明の症例も確認されています（図2）。今後も県内でさらなる患者が発生する可能性もあり、注意が必要です。

麻疹ウイルスに感染すると、10～12日の潜伏期間後、発熱や咳、鼻水、目の充血などの風邪症状が現れます。いったん解熱した後、全身に発疹が出現し、再び4～5日高熱が続きます。発疹出現の1～3日前に、頬の内側にコプリック斑という粘膜疹が見られるのも特徴です。また、肺炎や脳炎などを合併して重症化し、死亡することもあります。周囲への感染は、風邪症状が出現する前日から解熱後3日程度まで起こるため、発症前から他者へ感染させる可能性があります。

麻疹ウイルスは極めて感染力が強く、手洗いやマスクのみでは十分な予防はできません。最も有効な予防法は予防接種です。ワクチン未接種など免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症すると言われています。現時点で国民の約95%が麻疹ウイルス抗体を保有しており、集団免疫ができていますと考えられます（[IASR 2025: 46 \(7\) : 131-133](#)）。麻疹含有ワクチンの2回接種により、他者へ感染を広げるリスクは低くなることから、2回のワクチン接種が重要です。感染拡大防止のため、以下の点についてご協力をお願いします。



医療機関の受診

- 麻疹を疑う症状（発熱や風邪症状に続いて、発症から4日後頃に発疹が出現）がみられた場合は、医療機関を受診してください。受診の際は、事前に医療機関へ連絡し、その指示に従って自家用車等で受診してください。

ワクチン接種

- 定期接種
1歳児と小学校就学前1年間の子供が対象となります。積極的に早期の接種をご検討ください。
- 任意接種
ワクチン接種前の乳幼児や免疫が低下した方は、重症化しやすくなります。同居家族や医療従事者等で、過去の罹患歴や2回の接種が確認できない方は追加接種をご検討ください。

◇ 麻疹（はしか）に注意しましょう/麻疹含有ワクチン（MRワクチン等）：富山県HP

◇ 任意接種実施医療機関（PDF）



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第27週 2026年6月29日～2026年7月5日）

分類	疾患	今週報告分（第27週）					累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核					1	1	2	2	12	5	29	50	
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					1	1	2	1	4	5	19	31	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症							2		5		2	9	
四類感染症	E型肝炎									1			1	
	デング熱					1	1					1	1	
	マラリア					2	2					2	2	
	レジオネラ症					1	1	1	2	6	1	9	19	
五類感染症	急性脳炎							1				1	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									3	1	5	9	
	後天性免疫不全症候群（H1V感染症を含む）											1	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									2		4	6	
	侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	2		6	2	5	15	
	水痘（入院例）					1	1	1	1	1		3	6	
	多剤耐性緑膿菌感染症											1	1	
	梅毒							3	2	7		12	24	
	破傷風											1	1	
	百日咳							1				7	8	
	麻疹					1	3			4		4	8	
急性呼吸器感染症（※1） （48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	259	241	846	194	1,300	2,840	8,390	7,649	28,685	8,063	36,545	89,332	
	インフルエンザ	37.00	48.20	65.08	27.71	81.25	59.17	1,443	1,211	3,345	1,431	4,688	12,118	
	COVID-19	1		3	2		6	275	145	287	150	525	1,382	
小児科定点 （29定点）	RSウイルス感染症			9		1	10	29	11	139	28	105	312	
	咽頭結膜熱	1	1	11		3	16	32	23	192	1	75	323	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	4	18	3	16	43	144	193	1,348	220	1,246	3,151	
	感染性胃腸炎	16	23	17	3	112	171	695	585	1,081	277	3,438	6,076	
	水痘		2			5	7	3	17	38	9	100	167	
	手足口病	7	27	101	19	156	310	16	87	561	68	685	1,417	
	伝染性紅斑			2		1	3	8	3	24	9	13	57	
	突発性発しん			8	1	2	12	6	19	83	22	89	219	
	ヘルパンギーナ		6	5	4	21	36	15	27	56	13	91	202	
	流行性耳下腺炎				1		1	3		3	2	7	15	
	流行性角結膜炎				0.25		0.03							
	眼科定点 （7定点）	細菌性髄膜炎											1	1
		無菌性髄膜炎	1					1	2					2
マイコプラズマ肺炎		1.00					0.20	9		3	3	5	20	
クラミジア肺炎											2		2	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										1	1		2	
入院サーベイランス （5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							55	41	49	40	102	287	
	COVID-19による入院患者							18	16	7	11	58	110	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

全数把握

定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）